



大好きな
エルフの王女が
魔人王の
魔術によって
魔人化していく姿を
ただ…
黙って見ているしかない
弱小妖精のオイラ

あんなにキレイだった肌が
どす黒く変色していくー
ごめんフローネ様…オイラ…

イケね娘食堂

ここは妖精の国「ラホール」
このキレイな娘は
ラホールの第一王女フローネ様

フローネ様！
見て下さいこの花を

オイラの名はアベル
フローネ様に仕える
しがない下っ端妖精

もうアベルったら
そんなにはしゃいで
どうしたの？

フローネ様に
これを！

あら…

可愛くて優しくて
清らかで澄んだ心を持つ
フローネ様

ステキ！
私にくれるの？

はい！
フローネ様に
お似合いです

ありがとう！
大事にするわ

オイラはそんなフローネ様が
大好きなのさ…

にこっ

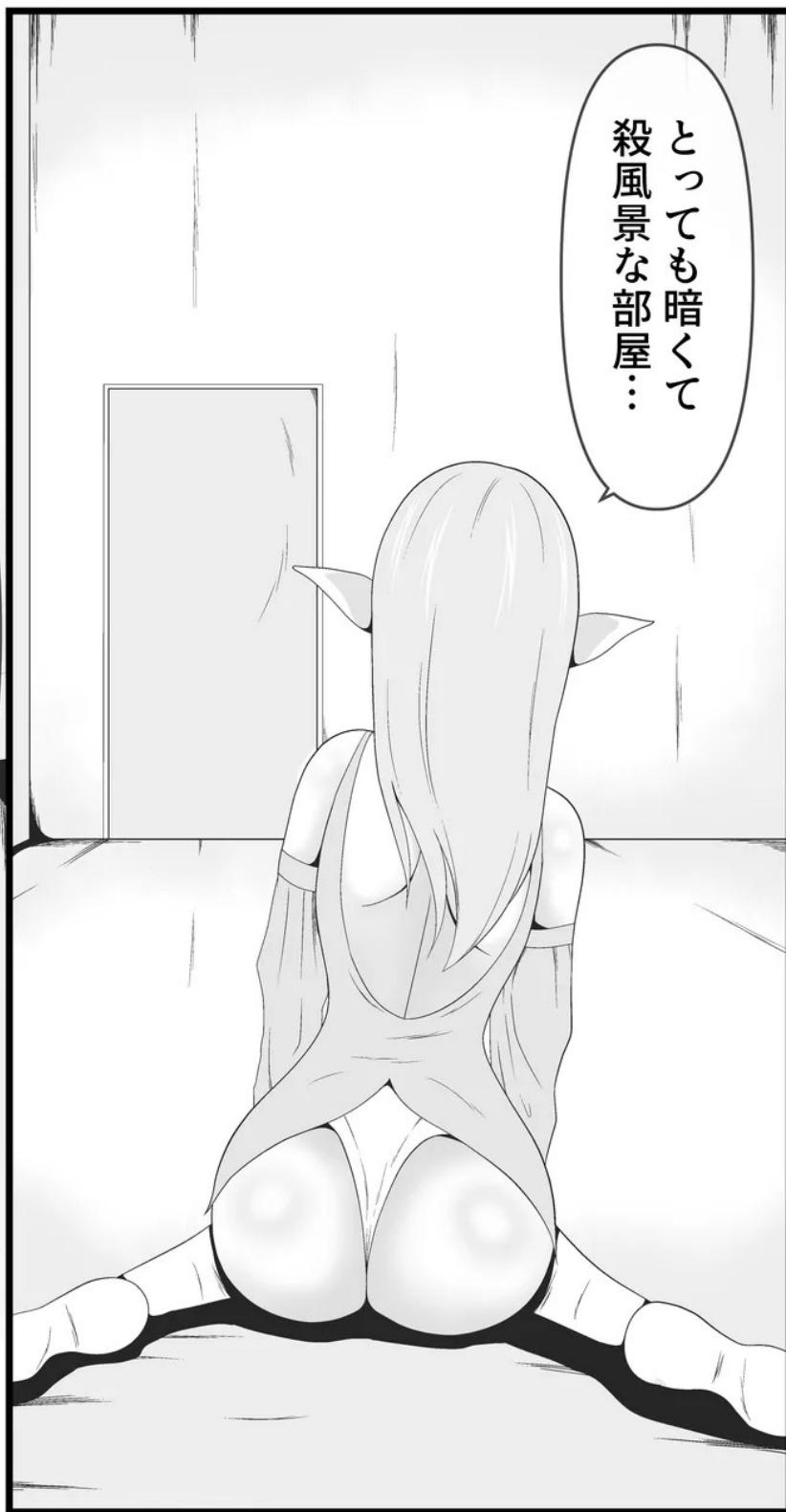
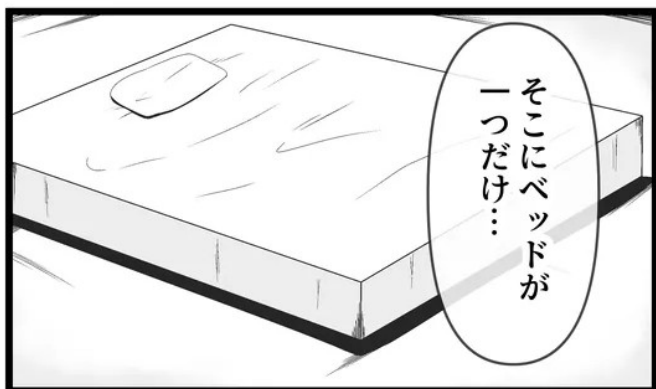
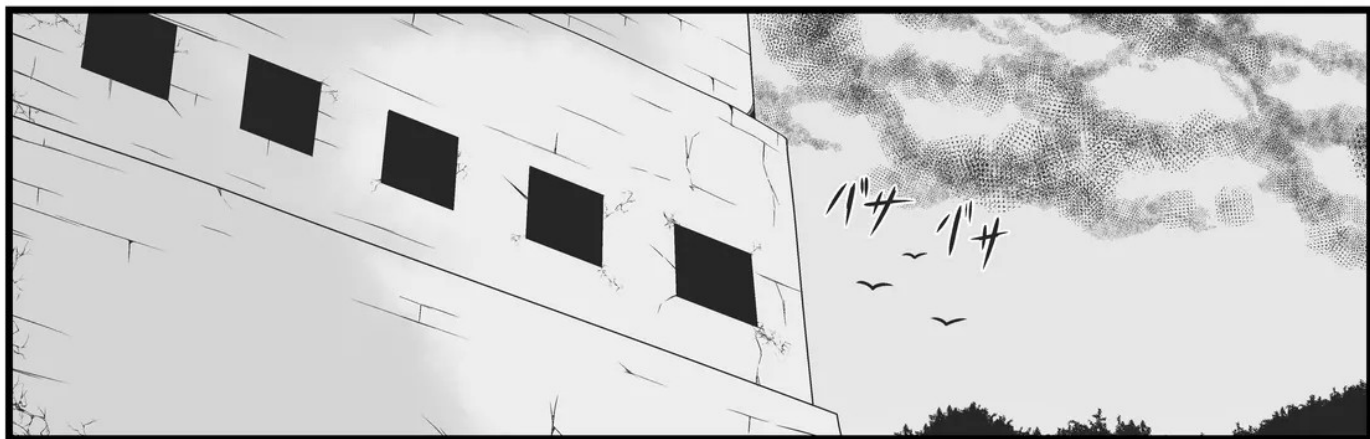
妖精の王国ラホール魔人王襲撃—
ラホール王ワボルは魔人王との
交戦中に戦死—後ラホール城陥落
これによりラホールは完全降伏する

残された王の側近または親族は
皆もろとも断頭台にかけられ
唯一王女フローネのみが残された

フローネは巨躯の男二人に
連れられ冷たい地下牢へと
幽閉されるのであった…

大好きなエルフの王女が
魔人王の魔術によって魔人化
させられる姿をただ黙って
見ているしかない弱小妖精のオイラ—









まあそれだけの事…

取るに足りんわ…



魔人王ガドラ
父上の仇…



元は魔物と戦う
正義感の強い
人間だったのが
闇の魔力に魅せられ

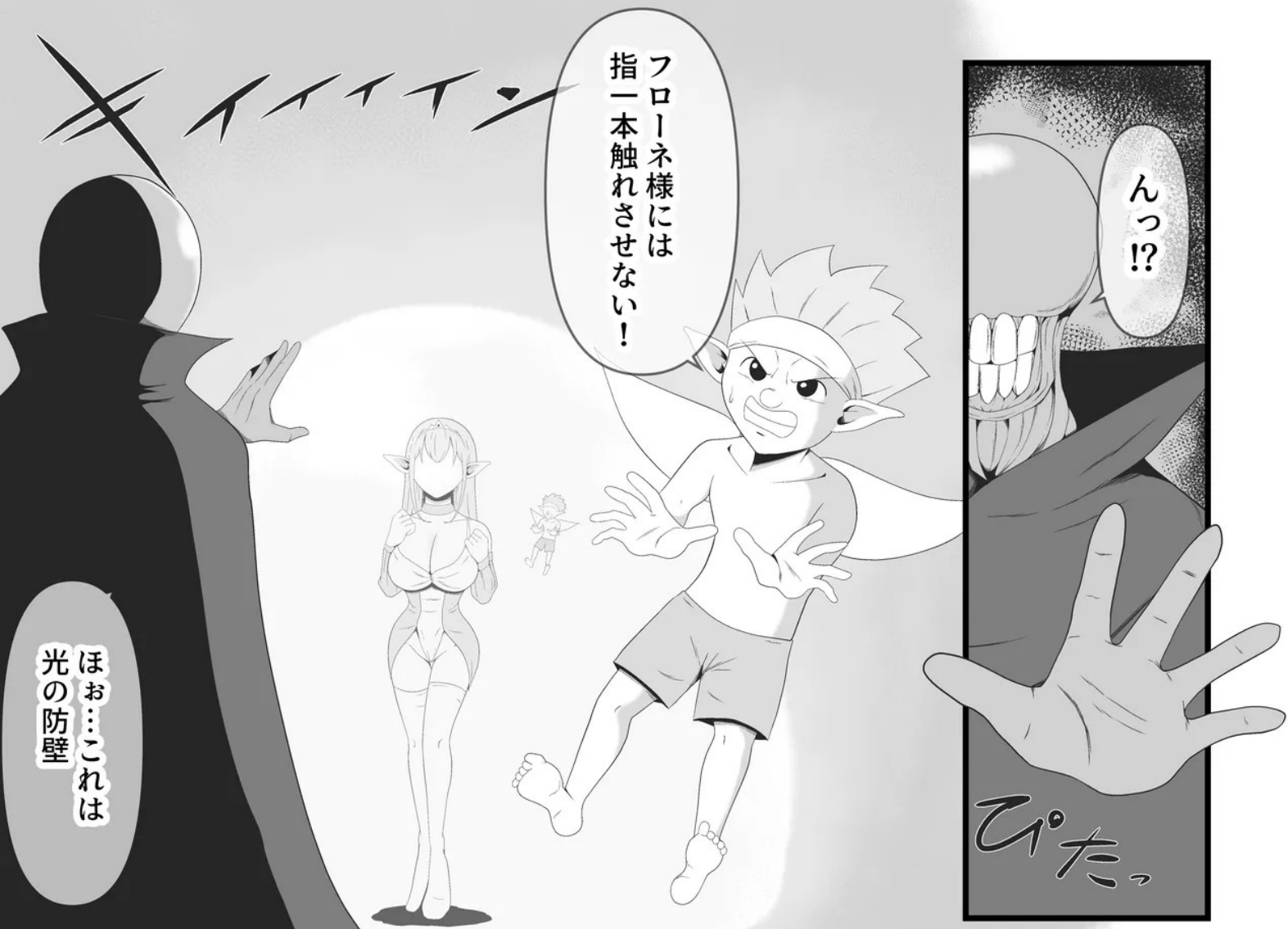
自ら魔族となり
数千の魔物を束ねる
魔人王となった者



くくく…



さあフロ―ネ戯れの時間だ
存分に楽しませてもらうぞ



ほお...これは
光の防壁

フローネ様には
指一本触れさせない!

んっ!?

ひたっ



なっ!? この光の防壁
何とゆう聖なる魔力だ!?



フローネ様に泣き顔なんて似合わねえ
お似合いなのは一輪の花と優しい笑顔さ!
なんちって...

本当は大した時間稼ぎにも
ならない事はオイラにも
分かってたさ



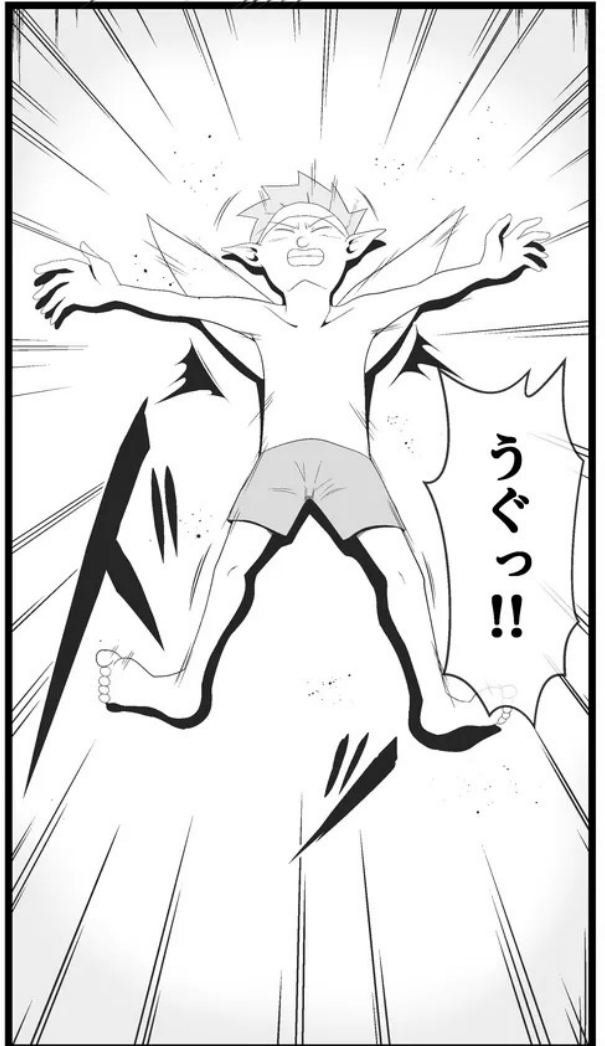
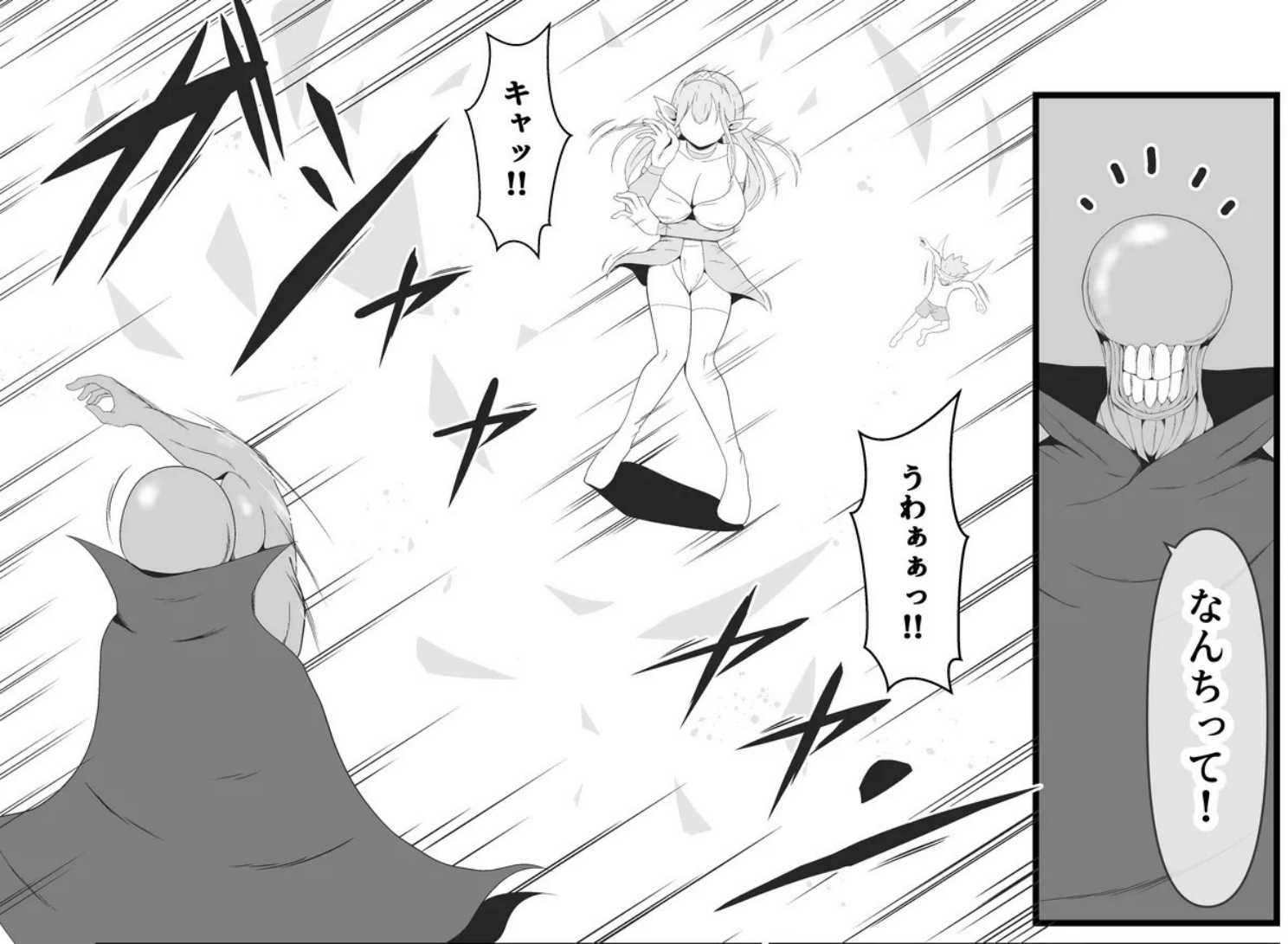
アベル...貴方
いつの間にかこんな上位魔法を...

へへ...オイラ
フローネ様の為に
猛特訓したんだぜ!



うおおおおお!!

でもこの時は...
ほんの少しだけ
どうかなる様な気がしたんだ





貴様の様な“聖女”には
俺たち魔族の闇の魔力は
一切効かない

.....

したがって貴様を完全に
“魔に堕とす”には
まず貴様に元来備わっている
“聖なる力”を剥奪しなければならない



当然です！
我々誇り高きエルフ族は
魔物に貸す耳は持ち合わせて
いません

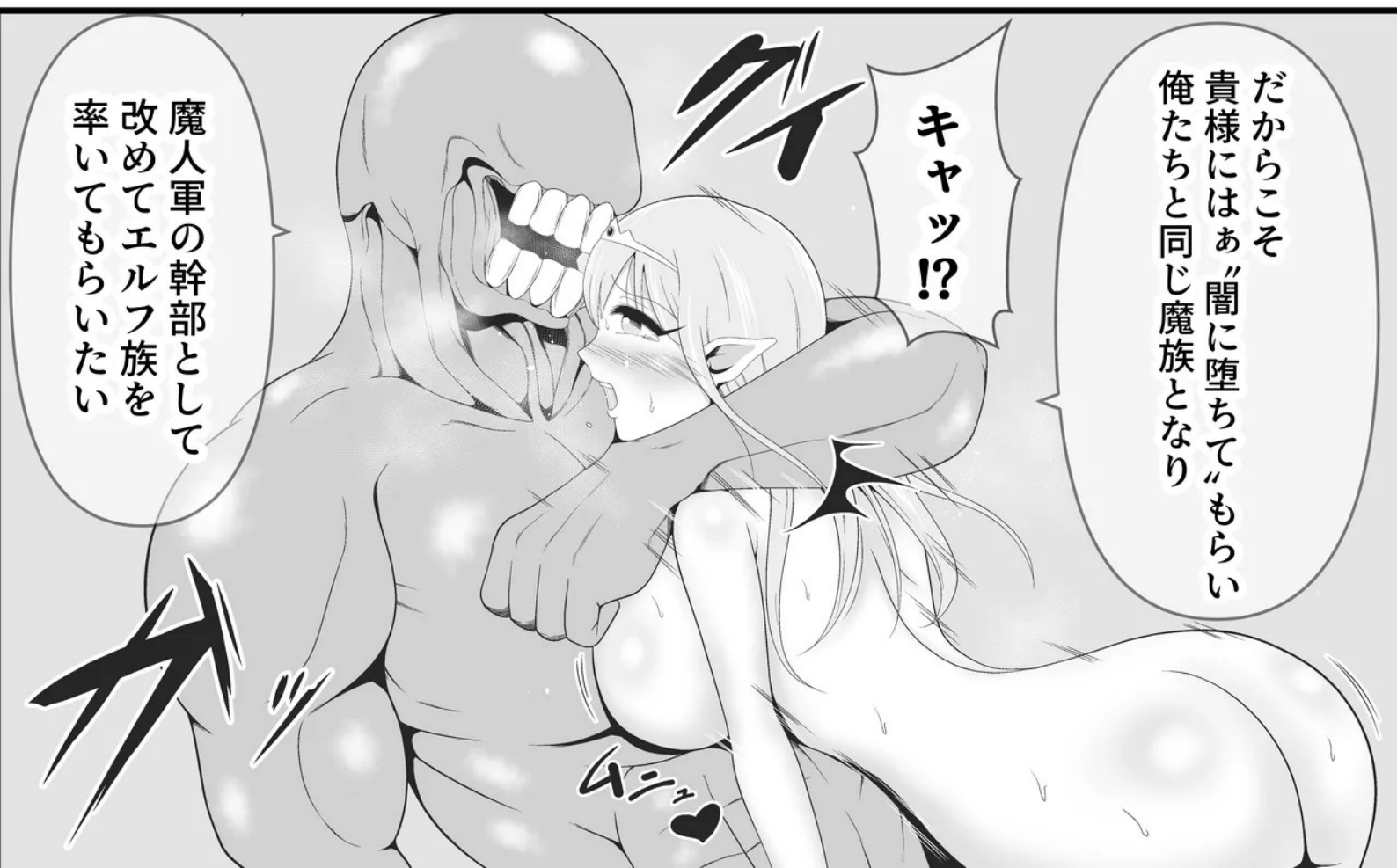
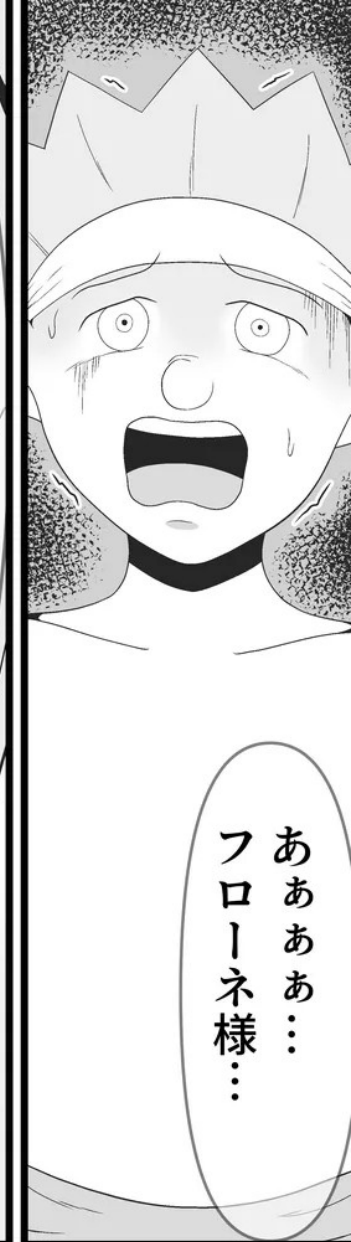


ラホール王国の民は
なかなか強情でな...
俺の言う事には一切耳を傾けんのだ



聖なる力の剥奪？
魔に堕とす？
一体何を言っているの？









くくく…早速効いてきたか
魔族の闇の魔力は聖女には
効かない…だから魔人軍の
別民族部隊に聖なる魔法で
催眠をかけさせてもらった



ぐぐぐ…放せ！
ぐっ…ダメだフローネ様



何だか…
変な気持ちい♡



太つとくて硬いおチンポで
おマンコぐちゅぐちゅ
掻き回してほしい♡あゝん♡
おチンポ舐めたいよお♡

はあ♡
何だかすっごくエッチな気持ち
逞しい男にめっちゃうちゃに
された♡



やーん♥
遅いおチンポみーけっ♥

じゅるるっ♥
んっ♥おいひいっ♥



フローネ様!ダメだっ…
これは罠だっ!!

ダメだ…これ以上聖女にとって
禁忌である淫行を進めてしまえば
フローネ様は…

はあ♥この
おチンポすっごく硬い♥

さあフローネよ…
俺の前で股を開いて
お前のマンコを広げてみる



あっ♥ああああんっ♥

ボコッ♥

あっ♥ダメダメ…
何かくる♥

プリン♥

ボコッ♥

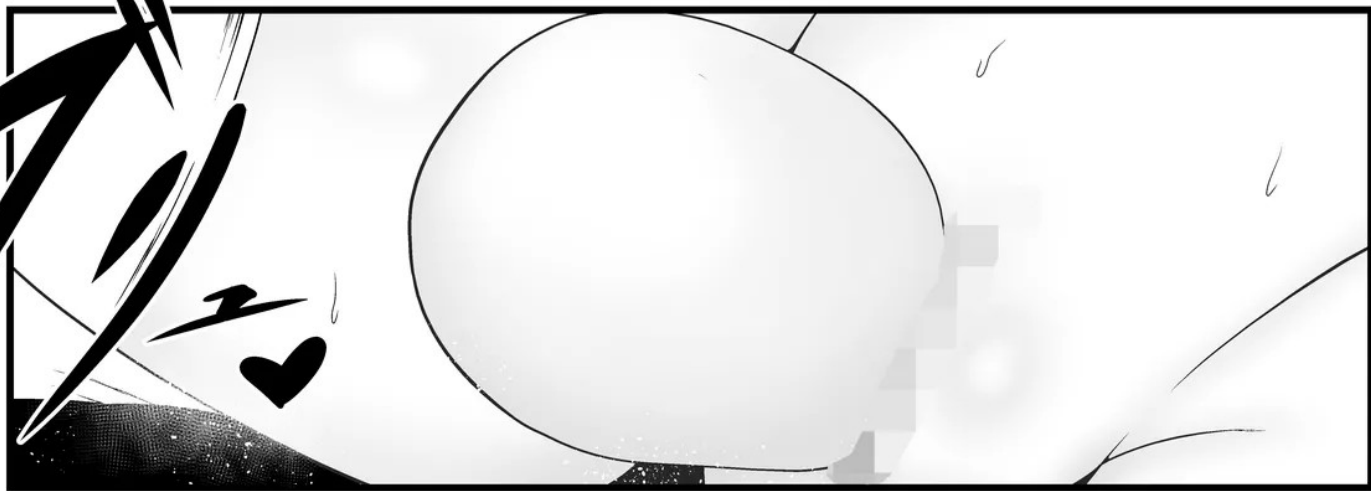
お願いだー
フローネ様
もうやめてくれ!!

何かお前の中から
湧き上がってきた
だろう…さあ
我慢する事はない
気持ちよく
ひねり出してしまえ

あああっ!何か出るっ…
出てきちゃううっ…♥

ビクッ♥
ボコッ♥
ビクッ♥
ボコッ♥

んぐっ♥あっ♥出る出る…
出ちゃううううう♥





頼む何でも言う事を聞くから…

お願いだ…それを…
フローネ様に返してくれ



これは美しい…
これこそが聖女を聖女
たらしめていた源の聖玉か…



ほう…



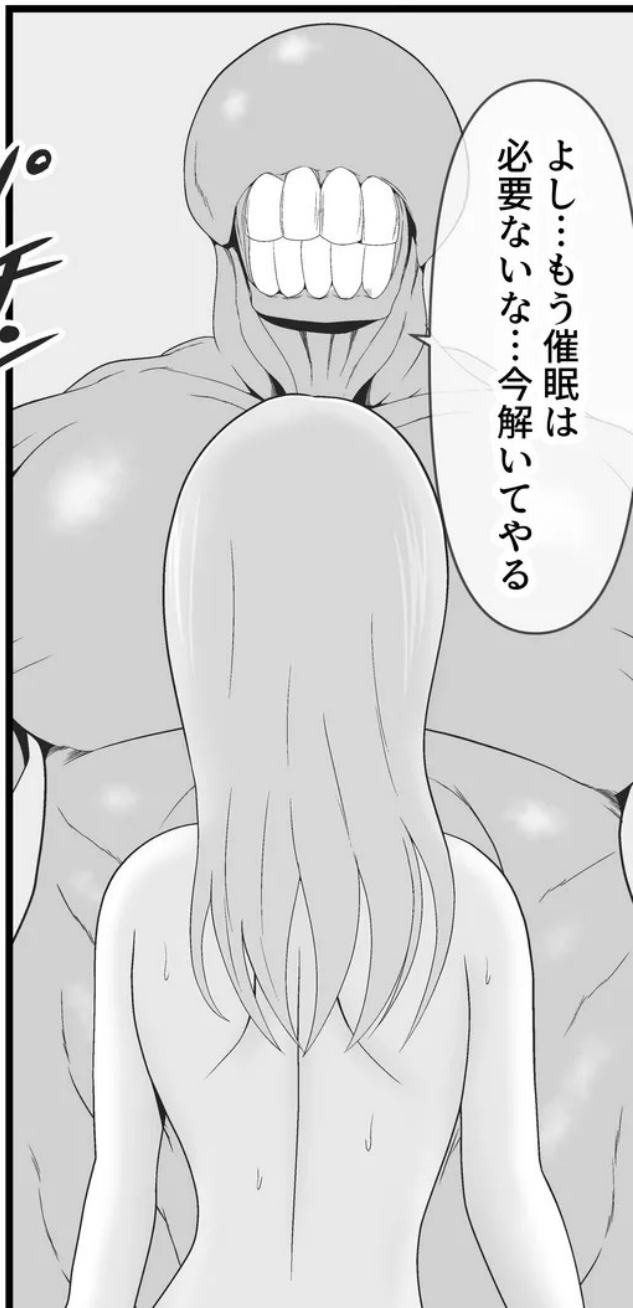
あれ…?
私…



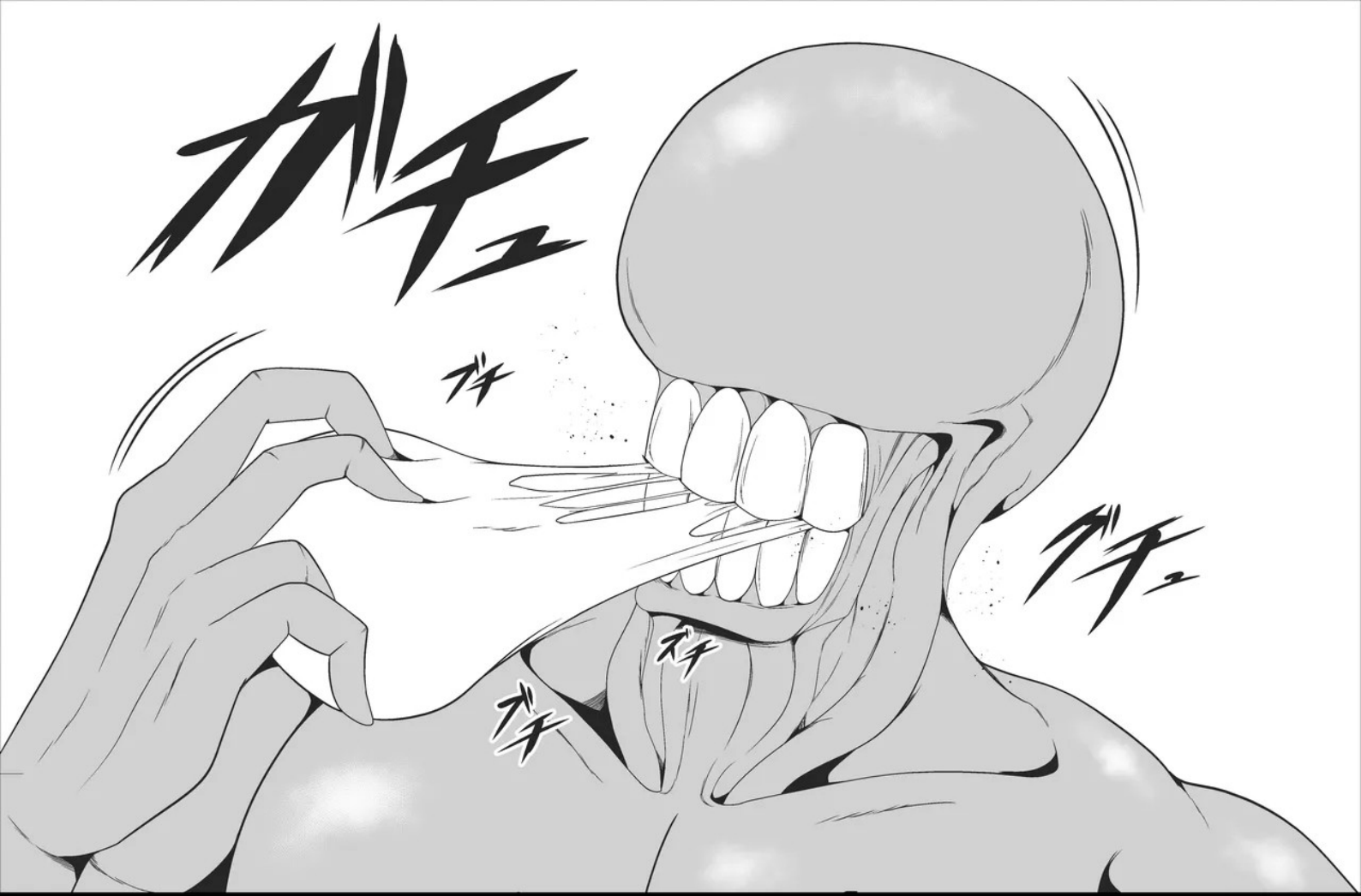
フローネ様!今なら
まだ間に合う!あいつの持っている
聖玉を取り返…



あれ…何だか変…
涙が…次から次へと
溢れてくる…何か
とっても大事な物を
失ってしまったような…



よし…もう催眠は
必要ないな…今解いてやる



聖女よ暗黒に染まれ



ふう…これで貴様は
俺の魔術が通用する身体となった
では…

いやー！
やめてっ！来ないでっ！



そんな…終わった…



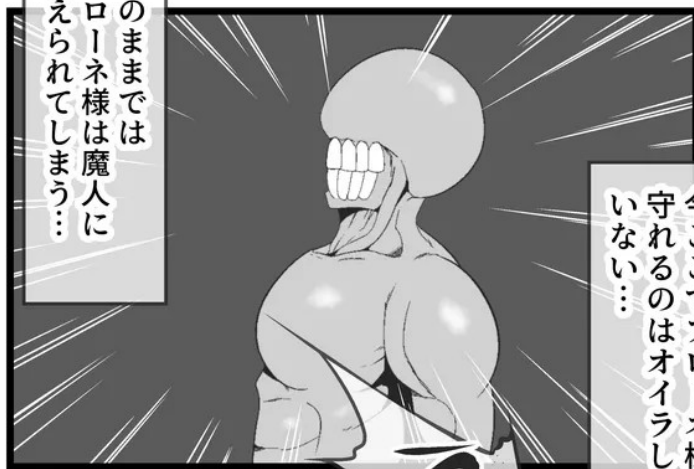
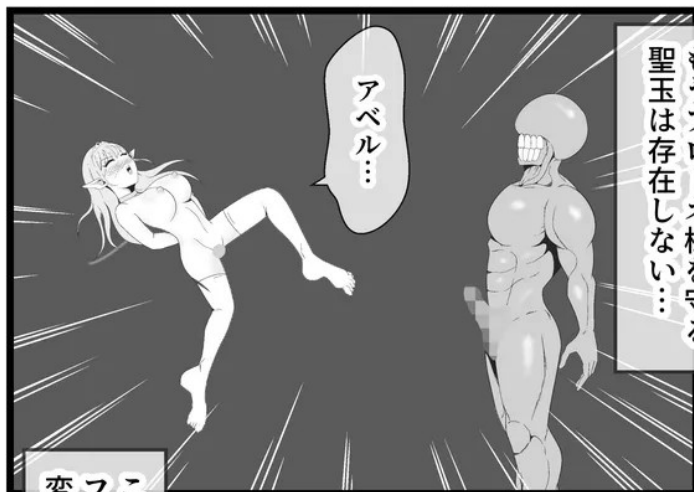
えっ…あれって…
もしかして私の…

部屋が…黒く染まってく…

いやあああああ!!
怖いっ…助けてアベル!

ズズズ!

身体が思う様に動かないっ…
やだよっ! 私魔人にされちゃうよお…





いでよ“魔淫柱”



さあ全てを捧げ
共に闇に堕ちるのだ



いやああ!
そんな大きいの
入らない!

アベルの嘘つきっ!
私の事助けるって
言ったのに…

アベル…
おねがっ…

いぎっ!!

いざ





うぐっ…
おぐぐぐぐぐ…!!



ズズズ

ぎぎぎぎぎっ!!



“魔淫柱”分離

ズズズ

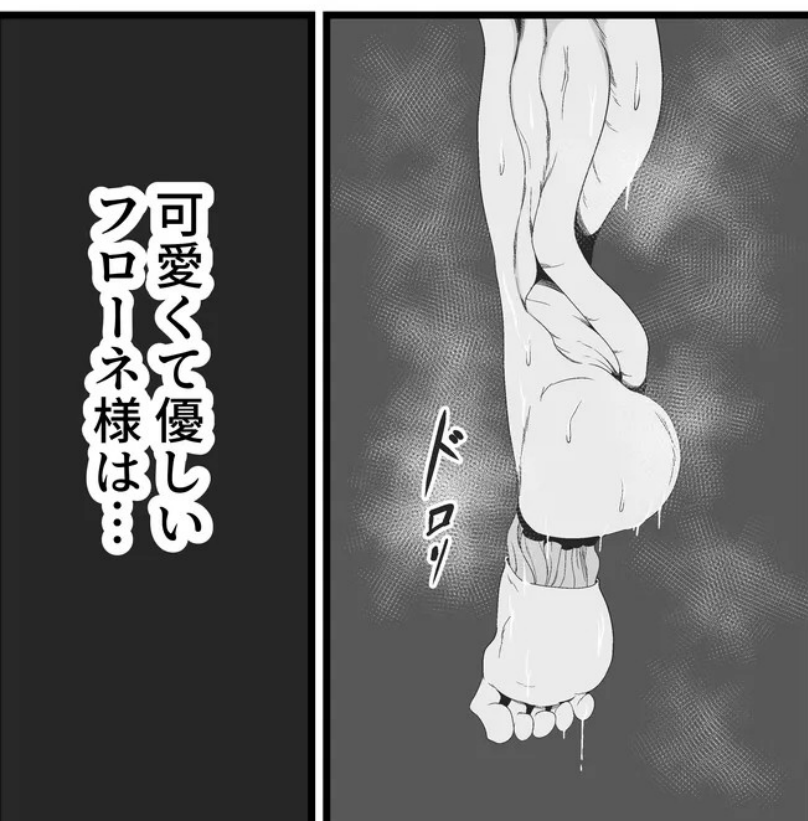
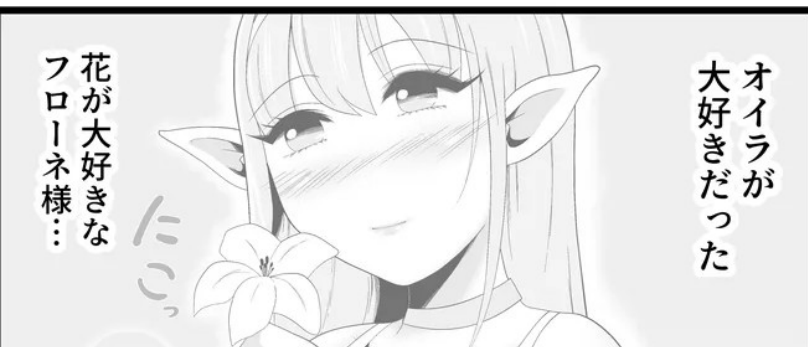


いやあつ!
何か入ってくるっ!
ダメ…

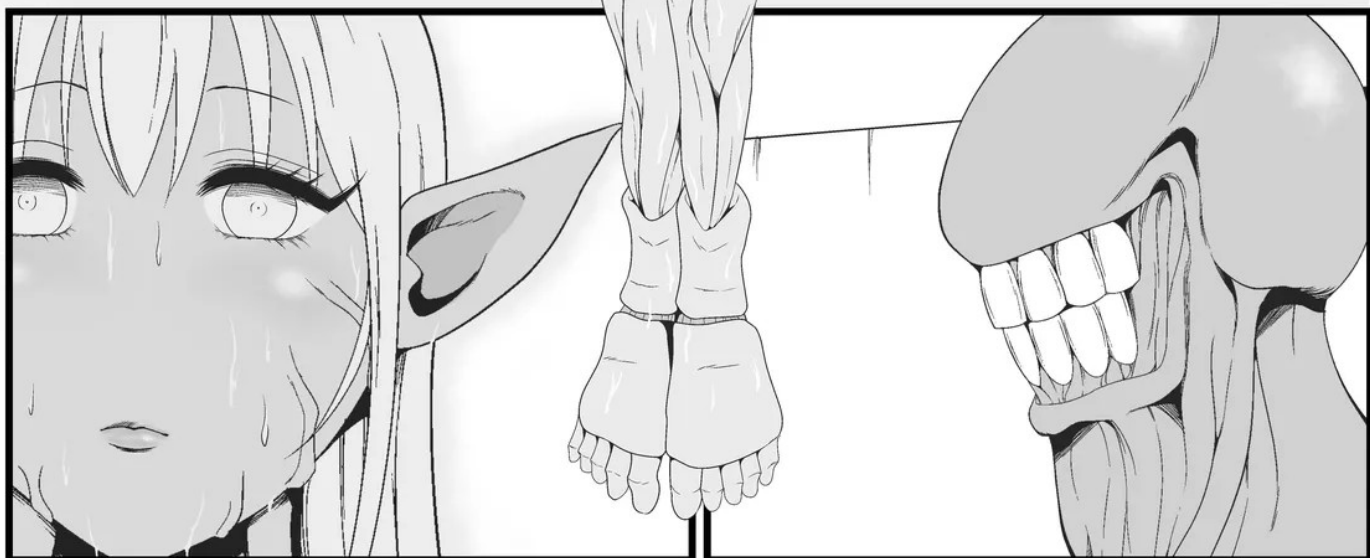
んぐっ…!!

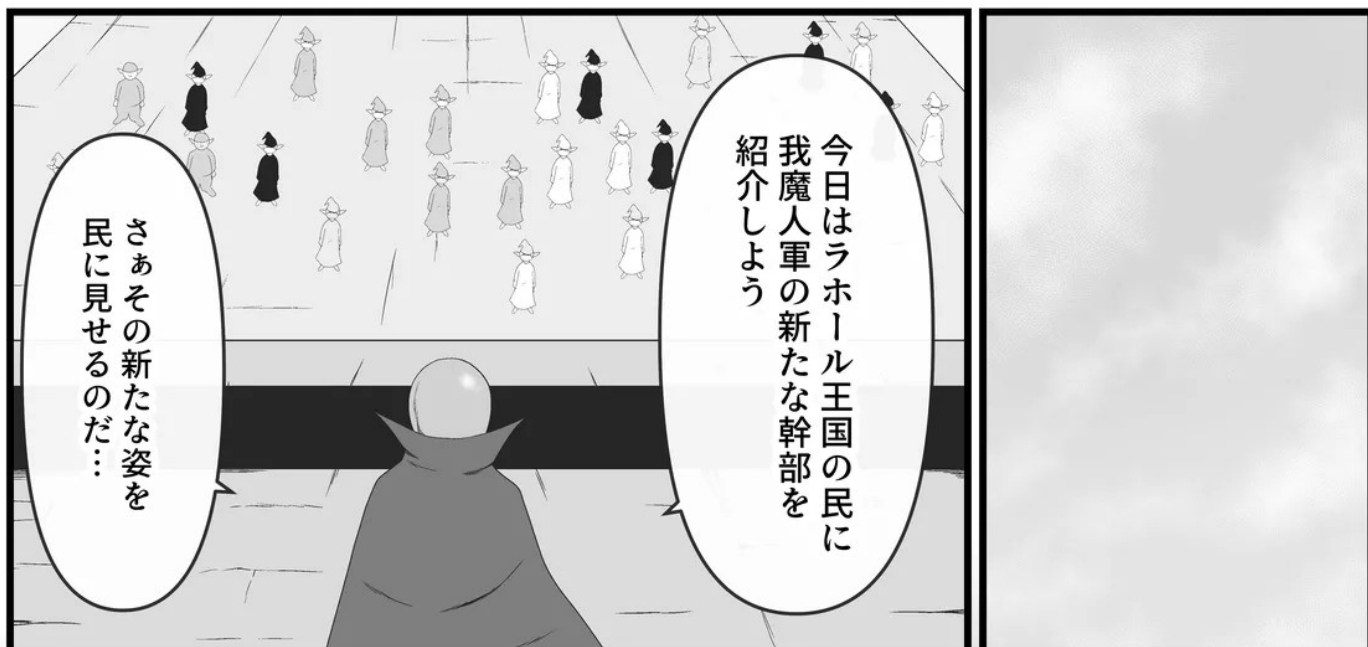


あああああああああつ!!



もう…どうにもいない…





今日はラホール王国の民に
我魔人軍の新たな幹部を
紹介しよう

さあその新たな姿を
民に見せるのだ…



元エルフの王女フローネ…
そして今は
“魔獣鳥人フローネ”だ
フローネには我魔人軍の
大幹部としてこれから働いてもらう



ああ…
おいたわしや
フローネ様…
なんとゆうお姿に…

あれは…
あの魔人は本当に
フローネ様か…

あの美しかった
フローネ様が…あの様な
醜い姿に変わり果てて
しまった…

こんにちわ
ご機嫌麗しゅう
脆弱なる愚民共♥

早速だけど貴方達も
魔人王様に従いなさい♥
ガタガタぬかす奴は私が
首とおチンポをチョンパ
しちゃうんだから♥

何とゆう汚いお言葉を
使われる…

ああ…もう終わりだ
ラホールはこれで本当に
お終いだ…

ハエと思われていたオイラは
殺されずらせず…
あっけなく逃がされ…

無様に生き残った…

消えよう…この国から…
いや…この大陸から

さあ私の手で
ブチ殺されたい奴はどいつ？
それとも魔人王様に忠誠を誓う？
忠誠を誓うって奴は私の目の前に
膝まづいて並びなさい…
ご褒美にお口でしゃぶってあげるわ♥
どう悪くないでしょ♥

それが…
守り切れず変わり果ててしまった
フローネ様を二度と見ずにいられる
唯一の手段だから